

計画の体系（案）

基本理念

子ども・若者の社会性を育み、自立を支援する

基本方向Ⅰ

困難を抱える子ども・若者とその家族を発見し、誘導する仕組みづくり

施策目標

- 1 地域・関係機関が連携した発見・誘導體制の確立
- 2 相談体制の充実

施策の推進方向

- (1) 発見・誘導から相談につなげる仕組みの構築
- (2) ひきこもり等に関する啓発活動の推進
- (1) 利用しやすく分かりやすい相談窓口の整備
- (2) アウトリーチ（訪問支援）等各事例に対応できる相談体制の構築
- (3) 相談を通じた家族支援の充実

基本方向Ⅱ

自立に向けた支援体制の確立

施策目標

- 3 居場所づくりとプログラムの推進
- 4 就労支援の推進
- 5 就労定着、安定的就労に向けた支援の充実
- 6 ひきこもり予防としての不登校対策、中退予防の推進

施策の推進方向

- (1) 安心できる居場所づくりの推進
- (2) 社会参加を促すプログラムの充実
- (1) 多様な就労体験プログラムの実施
- (2) 中間的就労の検討
- (3) 個人の特性に適した雇用のマッチングと職場開拓の推進
- (1) 働き続けるための継続的な支援の推進
- (2) 安定的就労に向けた専門技術等習得への支援
- (1) 義務教育機関における不登校対策の推進
- (2) 高校以降における不登校対策、中退予防の推進

基本方向Ⅲ

子ども・若者とその家族を社会全体で育む環境づくり

施策目標

- 7 子ども・若者とその家族を社会で支える環境の整備
- 8 家族のネットワークづくり
- 9 多様な関係機関による支援ネットワークの構築

施策の推進方向

- (1) 地域で子ども・若者とその家族を見守る環境づくり
- (2) さまざまな人とのふれあいの中で多様な体験ができる機会づくり
- (3) キャリア教育・職業教育の推進
- (4) 人材育成、メンタルケアの啓発
- (1) 悩みや情報を共有し、支え合える家族のネットワークづくり
- (1) 切れ目のない支援を行うためのネットワークの構築